

1/17(土) まいど! 倫々号です。今日からセンシティブな試験、受験生の気持ちの方も又大層可哀
正に今を思いやるそんな状況なんだろう。頑張れ受験生諸君!

今週の倫理 908号 私なんかも先を見る技能がたいの 2015.1.17 ~1.23

今か、足元を見えな、地盤を固めておく今がチャンスだ!!

幸世量: マホー鳥

先を見るには 足元を見よ



え・古屋智子

一月のテーマ

先を見る目

遠 い先を見据えて企画・計画を立てることは、企業にと

って欠かせないことです。時代の変化を見越して、さらに自分自身の成長するイメージを重ねながら、「大きな夢」「高い理想」に向かって走り抜いていけたら、どんなによいでしょう。

とはいえ、頭でわかっている、実際に行動に移すのは難しいものです。うまくいくかどうか、この先どうなるかと、先のことを憂えたり、結果を求め過ぎてばかりいると、逆に身動きが取れなくなる
ことがあります。「先を見る」とい
いながら、先のことを考えれば考
えるほど暗くなるのでは、本末転
倒でしょう。

このような状態になった時には
むしろ「先を見ない」という判断
も必要でしょう。

もちろん、ここでいう「先を見
ない」とは、「どうにでもなれ」と
自暴自棄になることを勧めている
わけではありません。まず何より
も、足元をよく見ていただきたい
のです。拠って立つ地盤がしっか

りすると、将来のイメージも、ぼ
んやりとしたモノクロ映像ではな
く、カラーの鮮明な映像でイメー
ジできるようになります。

「先を見る」上においても、まず
はしっかりと足元を見つめ、地盤を
固めていくこと。その心持ちを一
言で言うなら、「今を生きる」とい
うことになるでしょう。

*

水道工事会社に勤めるIさんに
は、例年の業務に、水道メーター
の交換があります。与えられた期
間に、各家庭や公共施設を訪問し
てメーターを交換していく、単調
な作業の繰り返しです。

考えることは、「ここまで終わっ
たから残りはいくつだ」と、数の
ことばかり。数が減っていくこと
だけを小さな喜びに、仕事をこな
していました。

しかし、すべて終わっても、後
に残るのは、「やっと終わった」と
いう実感だけでした。達成感より、
精神的苦痛と肉体的疲労ばかりが
後に残るのでした。

Iさんは、仕事そのものに対す

る喜びよりも、残りわずかになっ
たメーターを見て、喜びを感じて
いたのです。それは、仕事本来の
目的からは離れたものでしょう。

数をこなすという結果だけに意
識が向いていたIさんは、訪問先
での挨拶も、覇気がなく、暗いも
のでした。もし、一軒一軒に心を
向け、感じのよい明るい挨拶がで
きていたら、会社のイメージアッ
プにつながったかもしれません。

また、メーター交換の際に、機
器周辺の状況や水道設備全体にも
目を配っていれば、新しい仕事に
結びつく何かが見つかっていた可
能性もあるでしょう。

今この時、この瞬間の仕事に全
力を注ぐこと、日常生活の一瞬に
情熱を傾けることが「今を生きる」
ことに他なりません。その姿勢が
「今」を充実させ、結果として、
先々の展望を開いていきます。

輝かしい希望を抱いて、揺らぐ
ことなく走り抜いていくためにも、
自分の足元を疎かにせず、「今を生
きる」心持ちを貫いてまいりまし
よう。